

すながわの家計簿

〒財政係 TEL 74-8768



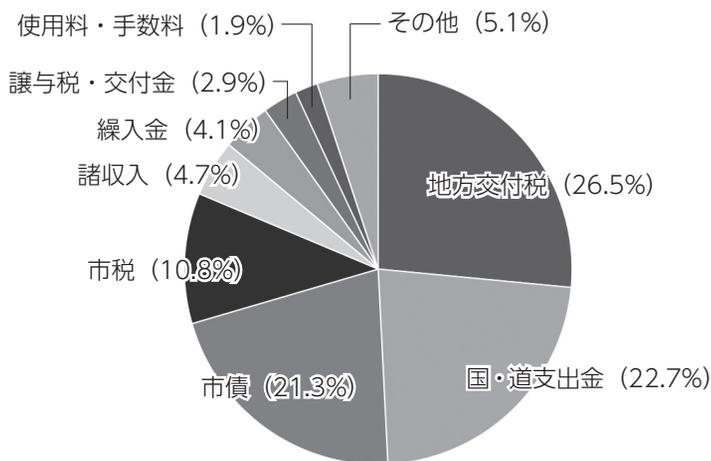
市では、皆さんから納めていただいている市税などの収入をもとに、さまざまな仕事（事業）を行っています。それがどのようなことにどれくらい使われているかなどを知っていただくため、毎年財政状況を公表しています。今回は、令和2年度決算および基金や市債の状況、令和3年度予算の12月末までの執行状況をお知らせします。なお、令和2年度決算は、市役所庁舎建設や新型コロナウイルス感染症対策経費により例年と比較して多額となっています。

令和2年度一般会計決算状況

歳入

決算額 **190億8,146万円**

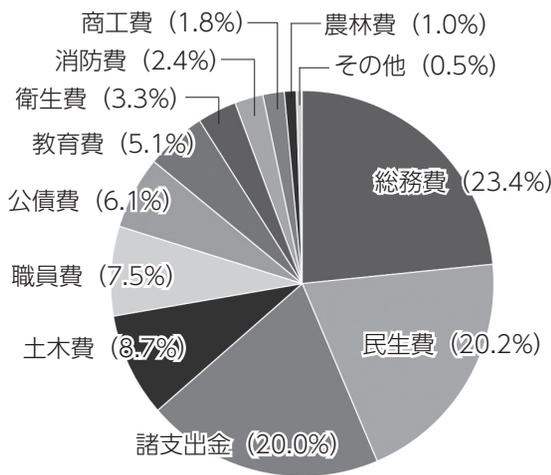
市の収入である歳入は、市税の収入が伸び悩む中、国や北海道から交付される地方交付税や国・道支出金、譲与税・交付金などの依存財源が73.4%と全体の約7割を占めています。将来にわたり安定的な財政運営を行っていくためにも、市税などの自主財源の確保が重要となっています。



歳出

決算額 **185億1,973万円**

市の支出である歳出は、庁舎建設や情報化推進などに使われる総務費が23.4%を占めています。続いて、生活保護や福祉医療、子育て支援などに使われる民生費が20.2%を占めています。特別定額給付金など新型コロナウイルス感染症対策により民生費の割合が前年より大きくなっています。



科目	主な内容	決算額
地方交付税	財源が不足する市町村へ国が配分するお金	50億4,931万円
国・道支出金	特定の事業に対して、国や道が支出する補助金	43億2,741万円
市債	市の借入金	40億5,310万円
市税	市民税や固定資産税	20億6,758万円
諸収入	貸付金元利収入	8億9,458万円
繰入金	貯金（基金）の取り崩し	7億8,135万円
譲与税交付金	地方譲与税、地方消費税交付金	5億6,685万円
使用料手数料	住宅・体育施設使用料や住民票・ごみ処理手数料	3億6,355万円
その他	財産収入、繰越金	9億7,773万円

科目	主な内容	決算額
総務費	庁舎建設・情報化推進費	43億2,638万円
民生費	福祉サービス・新型コロナ対策経費	37億4,937万円
諸支出金	市立病院などへの支出	37億168万円
土木費	道路・公園などの整備、市営住宅の維持管理	16億1,260万円
職員費	職員の給料・手当	13億8,323万円
公債費	市が借りたお金の返済	11億2,963万円
教育費	学校や社会教育の振興	9億4,701万円
衛生費	ごみ収集や健診経費	6億391万円
消防費	広域消防組合の負担金	4億4,859万円
商工費	新型コロナ関連経済対策	3億3,687万円
農林費	農林業や畜産の振興	1億7,829万円
その他	議会費・労働費	1億217万円



財務書類からみた令和2年度の決算状況（一般会計）



令和2年度決算について財務書類を公表します。財務書類は民間企業が作成する決算書と同様の考え方で作成されており、単年度収支では見えてこない市の資産や負債およびコストに関する情報が明らかになっています。

1 貸借対照表（市が保有する資産や将来返済する借金の状況などがわかります）

年度末に市が保有している資産（財産）と、その資産を取得するための財源（負債、純資産）を示しています。資産の多くは学校などの公共施設や道路・公園などの公共インフラにより構成される有形固定資産が資産全体の8割以上を占めており、負債に計上されている地方債はこれらの公共施設や公共インフラの整備の財源とされた借金の残高です。

◆貸借対照表（令和3年3月31日現在） ※前年度との比較 (単位：百万円)

科目	R1年度	R2年度	増減額	科目	R1年度	R2年度	増減額
固定資産				固定負債			
有形固定資産（学校、道路など）	36,796	39,772	2,976	地方債（R3年度以降に返済する借金）	11,804	14,673	2,869
投資および出資金（三セクなどへの出資）	1,242	1,245	3	その他	590	581	△9
基金（将来の支出に備えた貯金）	2,414	2,149	△265				
その他	362	172	△190	流動負債			
流動資産				地方債（R2年度に返済する借金）	1,078	1,184	106
現金預金（市の財布の中にあるお金）	461	612	151	その他	176	221	45
基金（お金が足りないときに利用する貯金）	1,278	1,162	△116				
棚卸資産（市が管理する分譲地）	430	508	78	負債合計	13,648	16,659	3,011
その他	20	26	6	純資産合計	29,355	28,987	△368
資産合計	43,003	45,646	2,643	負債および純資産合計	43,003	45,646	2,643

令和2年度末現在で市が保有する資産の合計は、約456億4,600万円で、これは過去から現在までの間に形成した資産の合計額を表しています。有形固定資産が約29億7,600万円増加していますが、これは新庁舎の建設工事に関連して建設仮勘定（事業用）が29億1,070万円増加したことが主な要因です。固定負債に計上した地方債は約28億6,900万円増加していますが、同様に新庁舎の建設工事に関連して29億1,070万円の起債を行ったことが主な要因です。

2 行政コスト計算書（市が市民に行政サービスを提供するために1年間に発生したコストがわかります）

市が1年間に市民へのサービスを行うために発生した費用と、このうち市民が直接的に負担した使用料などの収益を示しており、その差額を純行政コストとして算定しています。このコストは市民からの税金や国・道からの補助金により賄われています。

◆行政コスト計算書（令和2年4月1日～同3年3月31日） ※前年度との比較 (単位：百万円)

科目	R1年度	R2年度	増減額	科目	R1年度	R2年度	増減額
人件費（職員の給料など）	1,833	1,996	163	使用料および手数料（市営住宅の家賃など）	372	362	△10
物件費など（除雪や施設維持などの経費）	3,208	3,747	539	その他	289	139	△150
補助金など（消防・ごみ処理などの経費）	1,262	3,004	1,742				
社会保障給付（自立支援給付金や児童手当など）	1,540	1,593	53	経常費用合計 ア	10,605	13,405	2,800
他会計への繰出金	2,585	2,944	359	経常収益合計 イ	661	501	△160
その他	177	121	△56	臨時損失 ウ	153	6	△147
				純行政コスト アイ+ウ+エ	10,073	12,868	2,795

補助金などが令和元年度に比べて17億4,200万円増加していますが、これは令和2年度に新型コロナウイルス感染症対策のために支給した特別定額給付金16億6,700万円が主な要因です。

3 市民1人当たりだとどのくらい？

市が保有する資産や借金の状況、1年間に発生するコストを市民1人当たりには換算すると右記のようになります。

項目	R1年度	R2年度
人口（年度末）	16,653人	16,333人
資産	258万2千円	279万5千円
負債	82万0千円	102万0千円
純資産	176万2千円	177万5千円
純行政コスト	60万5千円	78万8千円



令和2年度企業・特別会計決算状況



■ 企業会計

病院事業	収入	支出
収益的収支	141億9,841万円	142億8,543万円
資本的収支	11億344万円	15億4,643万円

下水道事業	収入	支出
収益的収支	7億8,002万円	5億4,350万円
資本的収支	1億7,512万円	5億5,621万円

●病院事業の収益的収支不足分は新型コロナウイルス感染症の影響による収入減および病院建築に伴う多額の減価償却費の計上によるものです。また、資本的収支不足分は内部留保資金により補てんされており、健全経営を行っています。

■特別会計

会計名	歳入	歳出	会計名	歳入	歳出
国民健康保険	20億 428万円	19億 8,308万円	後期高齢者医療	6億 3,708万円	6億 3,698万円
介護保険	18億 6,359万円	18億 5,589万円			



令和2年度決算に基づく健全化判断比率など



地方公共団体財政健全化法に基づくいずれの指標も基準値を下回っています。実質公債費比率は、前年度より0.2ポイント低い4.5%となり、前年度に引き続き低い比率で保っています。

指標	健全化判断比率				資金不足比率	
	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率	下水道事業	病院事業
説明	一般会計などの赤字状況	すべての会計を合算した市全体の赤字状況	市の収入に占める借金の返済状況	市が将来負担しなければならない借りたお金などの状況	公営企業の収益に対する資金不足額の状況	
早期（経営）健全化基準	14.08%	19.08%	25.0%	350.0%	20.0%	20.0%
砂川市の比率	— (赤字なし)	— (赤字なし)	4.5%	73.9%	— (不足なし)	— (不足なし)

令和3年度会計の執行状況（令和3年12月末現在）

▶一般会計

◆歳入

科目	予算額	収入済額	執行率
地方交付税	49億 3,000万円	51億 8,339万円	105.1%
国・道支出金	21億 8,517万円	12億 5,629万円	57.5%
市税	19億 1,468万円	13億 7,650万円	71.9%
市債	12億 8,600万円	0万円	0.0%
繰入金	10億 8,160万円	0万円	0.0%
諸収入	8億 6,157万円	3,884万円	4.5%
譲与税・交付金	6億 3,567万円	4億 4,673万円	70.3%
使用料・手数料	3億 7,413万円	2億 4,622万円	65.8%
その他	6億 1,208万円	7億 8,581万円	128.4%
計	138億 8,090万円	93億 3,378万円	67.2%

◆歳出

科目	予算額	支出済額	執行率
諸支出金	35億 8,696万円	11億 5,329万円	32.2%
民生費	23億 5,081万円	15億 1,124万円	64.3%
土木費	14億 5,740万円	8億 4,659万円	58.1%
職員費	14億 5,118万円	11億 6,287万円	80.1%
公債費	12億 3,892万円	6億 2,107万円	50.1%
総務費	12億 557万円	8億 2,835万円	68.7%
衛生費	7億 8,457万円	4億 9,480万円	63.1%
教育費	7億 6,872万円	5億 6,002万円	72.9%
消防費	4億 1,179万円	3億 1,288万円	76.0%
商工費	3億 6,229万円	2億 9,149万円	80.5%
農林費	1億 5,411万円	9,087万円	59.0%
議会費	9,382万円	7,465万円	79.6%
その他	1,476万円	901万円	61.0%
計	138億 8,090万円	79億 5,713万円	57.3%

■一般会計とは…市税や地方交付税を主な収入財源として、行政運営の基本的な経費や事務事業を網羅して経理する会計です

▶特別会計

会計名	予算額	収入済額		執行率
		収入済額	支出済額	
国民健康保険	21億 1,860万円	11億 8,114万円	55.8%	
		14億 4,754万円	68.3%	
介護保険	19億 1,919万円	11億 1,408万円	58.0%	
		12億 5,641万円	65.5%	
後期高齢者医療	6億 7,382万円	4億 7,380万円	70.3%	
		4億 7,615万円	70.7%	

■特別会計とは…特定の事業や特定の収入で事業を行う場合に、一般会計と区別して経理を行っている会計です

▶企業会計

下水道事業		予算額	執行済額	執行率
収益的	収入	7億 8,059万円	3億 7,604万円	48.2%
	支出	5億 4,292万円	1億 86万円	18.6%
資本的	収入	8,691万円	200万円	2.3%
	支出	4億 7,409万円	2億 7,241万円	57.5%

病院事業		予算額	執行済額	執行率
収益的	収入	135億 6,037万円	94億 8,618万円	70.0%
	支出	145億 8,966万円	101億 9,210万円	69.9%
資本的	収入	11億 9,751万円	4,591万円	3.8%
	支出	17億 7,319万円	10億 4,451万円	58.9%

■企業会計とは…株式会社など民間企業の会計手法を取り入れ、独立採算制を原則とする会計で病院の場合は診療収入などにより運営しています

※市の財政状況は市ホームページでも公表していますのでご覧ください。